

## 「事業承継学会オープン・フォーラム in 京都」を開催します

日本の中小企業の事業承継は、「危機」に直面しています。「2025年には、130万社が廃業し、650万人の雇用が消失し、33兆円のGDPが奪われる」と予測されています。危機の理由は「後継者がいない」ことで、より深刻なのは、後継者の候補（実子など）がいても、その人たちに「承継する意思がない」ことです。そのため黒字企業の廃業が急増中です。

事業承継学会はこの「事業承継の危機」に対して、実務的にも学術的にも、種々の提言・提案を世に問わなければなりません。両方の専門家を会員にもつ学会の強みを発揮した、オープン・フォーラムを下記の要領で開催します。

本学会員の他、非会員の参加も歓迎します。参加は以下の様式に必要事項をご記入の上申し込みください。参加は無料です。

【日時】2019年2月9日（土）午後1時-午後4時05分

【場所】同志社大学今出川キャンパス 良心館 RY206

[https://www.doshisha.ac.jp/information/campus/imadegawa/imadegawa.html?neiseikan\\_building#campusmap](https://www.doshisha.ac.jp/information/campus/imadegawa/imadegawa.html?neiseikan_building#campusmap) (キャンパスマップで22の番号の建物・良心館206号教室)

### テーマ：事業承継の危機

#### －事業承継とは、何を継承するのか？－

弁護士・公認会計士・行政、それぞれの立場からの提言。社会関係資本の共有（創業者の遺訓・家訓と家業を継ぐ誇りを含む）の観点を含めたコーディネーション。

#### 【プログラム】

13:00-13:45 基調講演 1

古家野彰平氏（本学会常務理事・弁護士法人古家野法律事務所弁護士）による弁護士の立場からの提言。

13:45-14:30 基調講演 2

中野雄介氏（本学会常務理事・中野公認会計士事務所所長）による公認会計士の立場からの提言。

休憩

14:45-16:05 パネルディスカッション

パネリスト：古家野彰平氏、中野雄介氏、笠原和史氏（京都府ものづくり振興課副課長）、  
奥野宏氏（京都中小企業事業継続・創生支援センター コーディネーター）

コーディネーター：林廣茂氏（西安交通大学管理大学院客員教授・本学会代表理事）

申込締切：2019年2月7日（木曜日）

【連絡先】：事業承継学会事務局 <mailto:info@jsbs.jp>

カナ		カナ	
名前		所属	
住所		電話番号	
FAX番号		E-mail	@
区分	<input type="checkbox"/> 学会会員 <input type="checkbox"/> 非会員 ※いずれかに✓をつけてください。		ご紹介者（もしあれば）

京都老舗の会の会員様は、ご紹介者の欄に京都老舗の会とご記入下さい。

送付先 FAX 番号:075-431-4365